施策評価シート（ 令和2　年度の振り返り、総括）

作成日	令和3 年　04月　15日

施策 No.	32	施策名	防犯対策の推進
主管課名	くらし安全課	電話番号	0285-83-8110
関係課名	くらし安全課、学校教育課、生涯学習課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874					

施策の目標	市民だれもが安全で安心して暮らすため、家庭、学校、地域、警察との連携や防犯設備の整備促進により犯罪の発生を抑制しています。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・防犯講座開催数は、実績とする。 ・犯罪に不安を感じている市民の割合は、市民意向調査を使用する。 ・防犯灯設置数は、真岡市防犯協会の設置補助件数とする（累計）。 ・公共施設防犯カメラ設置台数は、設置数とする（累計）。 ・自主防犯活動実施団体数は、真岡市防犯協会、及び真岡市女性防犯クラブの活動内容から把握する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
防犯講座開催数	目標値	回	138	140	142	145	147	150	150
	実績値			13					
犯罪に不安を感じている市民の割合	目標値	%	54.3	50.4	46.5	42.7	38.8	35.0	35.0
	実績値			49.2					
防犯灯設置数（累計）	目標値	灯	6,112	6,209	6,307	6,404	6,502	6,600	6,600
	実績値			6,305					
公共施設防犯カメラ設置台数（累計）	目標値	台	374	383	392	401	410	420	420
	実績値			436					
自主防犯活動実施団体数	目標値	団体	48	50	52	55	57	60	60
	実績値			41					
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民の役割：「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を高め、地域が主体となった身近な防犯活動に継続的に取り組みます。 行政の役割：防犯に関する啓発や活動の推進と防犯灯等の設置補助等による防犯環境の充実により犯罪を未然に防止するまちづくりに努めます。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（1）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

窃盗や特殊詐欺など犯罪の発生を未然に防止し被害を防ぐため、防犯講座の開催、不審者・犯罪発生情報の提供、スクールガードによる登下校時の見守り活動を実施したほか、
防犯灯の設置支援、防犯カメラの設置、特殊詐欺対策電話機購入補助を行ってきた。

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「防犯講座開催数」、「自主防犯活動実施団体数」が減少したことにより防犯意識の低下が懸念される。

・地域による防犯灯の設置数は、前年より101灯増加、公共施設の防犯カメラの設置台数は、目標値を超える436台、また、特殊詐欺対策電話機等購入費補助交付件数が90件、
累計で192台となり、防犯効果が向上していると考えられる。

・また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う不要不急の外出自粛の要請も相まって、「犯罪に不安を感じている市民の割合」が減少、市内の犯罪件数も
前年の442件から30件減少したと考えられる。

・市内の空家については、雑草や樹木の繁茂による苦情が多く寄せられているが、不審者の出没や不審火の発生はなかった。

今後、犯罪は、いつ、どこで発生するか分からないものであり、手口が複雑化、巧妙化している状況から、コロナ禍であっても「自分たちのまちは、自分たちで守る」という
防犯意識の向上や地域が主体となった防犯体制の強化に努める必要がある。

（2）今後の方向性（（1）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

・地域づくり事業や出前講座等による防犯講座など、地域が主体となって取組む自主防犯活動やスクールガードによる
見守り活動を推進し、防犯意識の向上を図る。
また、女性防犯クラブの結成や自主防犯活動団体の設立に向けて、引き続き自治会等に働きかけていく。

・防犯効果を高めるため、防犯灯の設置や特殊詐欺対策電話機等の購入を推進する。

・家庭、学校、地域、警察との最新の防犯情報の共有に努めるなど、連携を強化する。

・防災行政無線や真岡市公式アプリを活用し、特殊詐欺対策に関する情報や不審者情報を提供し、注意喚起、犯罪の未然　防止に努める。

・生活環境に影響がある空き家等の所有者に対しては、適正な管理をするよう指導し、不審者の出没や不審火の発生の
防止に努める。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和2 年度実績	今後の方向性
1		防犯対策事業	くらし安全課交通防犯係	防犯講座の開催数	回	13	現状維持
				特殊詐欺対策電話機等購入費補助金交付件数	件	90	現状維持
				空き家等把握件数	件	373	現状維持